

厳島神社

厳島神社は、大久喜漁港から突き出した小さな半島の先端に鎮座しています。鮮やかな朱色の鳥居 3 基を構えるこの神社は、弁財天という女神を祀っています。しかし、近年起こった一連のできごとが奇跡のような結末を迎えたことにより、今日、この神社は復興と国際的な友好関係のシンボルとして最もよく知られています。

厳島神社にもともと 2 基あった鳥居は、どちらも 2011 年の東日本大震災の際、津波で流されてしまいました。鳥居の一部は 2 年の間、約 7,000 キロメートルにわたって太平洋を漂流し、オレゴン州の海岸の 2 か所に別々に打ち上げられました。2 基の鳥居の笠木（上部）は、片方が発見された後、1 か月を待たずもう片方も発見され、ポートランド日本庭園の学芸員とディレクターの協力により神社に帰ってきました。姿を消してから 4 年 9 ヶ月を経て、2 基の鳥居は再び厳島神社に設置されました。八戸市とポートランド市の新たな友好関係を記念し、神社には 3 基目の鳥居が建てられました。